BUFFALO™

フォーマット/メンテナンスガイド

http://buffalo.jp/qa/index.html

35011885-04

本書の使いかた

注意

- 本書では、外付ハードディスク全般の説明をしています。そのため、お使いの製品によっては、対応していないOSの記載があります。あらかじめご了承ください。
- タブレットの場合は、「クリック」を「タップ」に読み替えてください。

文中の用語表記

- Windows搭載パソコンの場合、本書では、次のようなドライブ構成を想定して説明しています。
  C：ハードディスク　　　D：CD-ROMドライブ
- 「IEEE 1394」、「i.LINK」、「FireWire」は同じインターフェースです。本書では、「i.LINK」と「FireWire」を「IEEE 1394」と表記しています。
- 文中[　]で囲んだ名称は、ダイアログボックスの名称や操作の際に選択するメニュー、ボタン、チェックボックスなどの名称を表しています。
- 本書に記載されているハードディスク容量は、1GB＝10003byteで計算しています。OSやアプリケーションでは、1GB＝10243byteで計算されているため、表示される容量が異なります。

- 本書の著作権は当社に帰属します。本書の一部または全部を当社に無断で転載、複製、改変などを行うことは禁じられております。
- BUFFALO™は、株式会社メルコホールディングスの商標です。i.LINKは、IEEE 1394-1995およびその拡張仕様を示す呼称です。i.LINKは、ソニー株式会社の商標です。FireWireはApple社の商標です。その他、本書に記載されている他社製品名は、一般に各社の商標または登録商標です。本書では、™、®、©などのマークは記載していません。
- 本書に記載された仕様、デザイン、その他の内容については、改良のため予告なしに変更される場合があり、現に購入された製品とは一部異なることがあります。
- 本書の内容に関しては万全を期して作成していますが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどがありましたら、お買い求めになった販売店または当社サポートセンターまでご連絡ください。
- 本製品は一般的なオフィスや家庭のOA機器としてお使いください。万一、一般OA機器以外として使用されたことにより損害が発生した場合、当社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

  医療機器や人命に直接的または間接的に関わるシステムなど、高い安全性が要求される用途には使用しないでください。

  一般OA機器よりも高い信頼性が要求される機器や電算機システムなどの用途に使用するときは、ご使用になるシステムの安全設計や故障に対する適切な処置を万全におこなってください。
- 本製品は、日本国内でのみ使用されることを前提に設計、製造されています。日本国外では使用しないでください。また、当社は、本製品に関して日本国外での保守または技術サポートを行っておりません。
- 本製品（付属品等を含む）を輸出または提供する場合は、外国為替及び外国貿易法および米国輸出管理関連法規等の規制をご確認の上、必要な手続きをおとりください。
- 本製品の使用に際しては、本書に記載した使用方法に沿ってご使用ください。特に、注意事項として記載された取扱方法に違反する使用はお止めください。
- 当社は、製品の故障に関して一定の条件下で修理を保証しますが、記憶されたデータが消失・破損した場合については、保証しておりません。本製品がハードディスク等の記憶装置の場合または記憶装置に接続して使用するものである場合は、本書に記載された注意事項を遵守してください。また、必要なデータはバックアップを作成してください。お客様が、本書の注意事項に違反し、またはバックアップの作成を怠ったために、データを消失・破棄に伴う損害が発生した場合であっても、当社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本製品に起因する債務不履行または不法行為に基づく損害賠償責任は、当社に故意または重大な過失があった場合を除き、本製品の購入代金と同額を上限と致します。
- 本製品に隠れた瑕疵があった場合、無償にて当該瑕疵を修補し、または瑕疵のない同一製品または同等品に交換致しますが、当該瑕疵に基づく損害賠償の責に任じません。

目次

第 1 章 - フォーマット（初期化）

本製品をフォーマット（初期化）する方法を説明しています。

フォーマット（初期化）とは

フォーマットとは、ハードディスクをお使いのパソコンで使用できるようにする作業です。

本製品をフォーマットする場合は、本書の手順や製品付属のマニュアルに記載の手順でフォーマットしてからお使いください。

フォーマットの形式

フォーマットにはいくつかの形式があり、お使いのOSによって認識できる形式が異なります。本製品をフォーマットするときは、以下のいずれかの形式でフォーマットしてください。

Note: お買い求めいただいた製品によっては、フォーマットする形式を指定しているものがあります。製品に付属のマニュアルを参照して、最適な形式でフォーマットしてください。

NTFS形式

Windows専用の形式です。4 GB以上のファイルも扱えます。

FAT32形式

WindowsとMac OSのどちらでも使用できる形式ですが、4 GB以上のファイルを扱えません。

Mac OS拡張形式

Mac専用の形式です。4 GB以上のファイルも扱えます。Windowsでは使用できません。

	NTFS形式	FAT32形式	Mac OS拡張形式
Windows	◎	○	×
Mac OS X 10.4以降	△	○	◎

◎：読み込み、書き込みとも可能です。

○：読み込み、書き込みとも可能です（4 GB以上のファイルは扱えません）。

△：読み込みのみ可能です。書き込みはできません。

×：使用できません（認識しません）。

フォーマット時のご注意

- フォーマット中は、絶対にパソコンの電源スイッチをOFFにしたり、リセットしないでください。
  ディスクが破損するなどの問題が発生します。また、以後の動作についても保証できません。ご注意ください。
- フォーマットすると、ハードディスク内にあるデータは失われます。フォーマットする前に、ハードディスクの使用環境をもう一度よく確認してください。
  ハードディスクのフォーマットは、お客様ご自身の責任で行うものです。誤って大切なデータやプログラムを削除しないように、フォーマットを実行するディスクが何台目のディスクか、パーティション名は何か必ず確認しておいてください。

NTFS/FAT32形式でのフォーマット

Notes:

- Windowsパソコンでフォーマットしてください。
- フォーマットソフトウェア「DiskFormatter2」でフォーマットしてください。Windowsの機能（ディスクの管理）でフォーマットすると、フォーマットできないことや、正常に認識できないことがあります。
- FAT32形式でフォーマットした場合、保存できる1ファイルの最大容量は、4 GBとなります（FAT32形式の制限です）。

以下の作業を行う前に、DiskFormatter2をインストールしてください。ここでは例として、本製品の出荷時状態から再度フォーマットする手順を説明します。

フォーマット方法

Note: 以下の手順を行うと、外付ハードディスク内の全てのデータが消去されます。必要なデータは、パソコンなどにバックアップ（コピー）してください。

1 パソコンにフォーマットする外付ハードディスクを接続します。

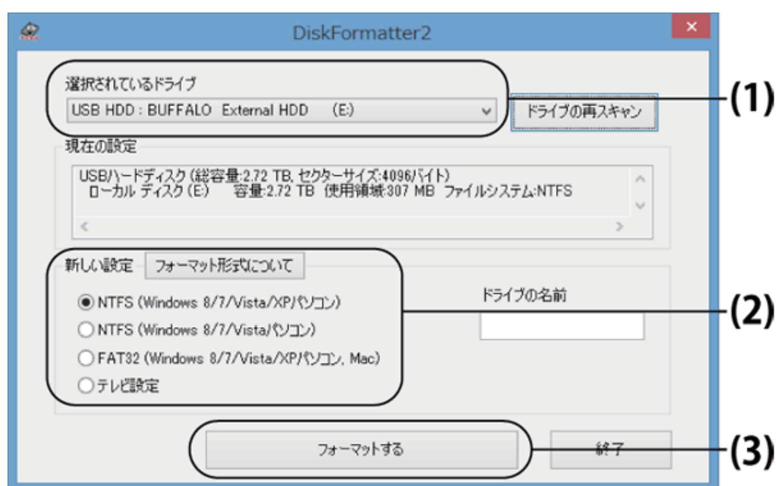
2 ［スタート］—［すべてのプログラ ム］—［BUFFALO］—［DiskFormatter2］—［DiskFormatter2］を選択します。
Windows 8の場合は、スタート画面の［DiskFormatter2］をクリックします。

3

(1) フォーマットするハードディスクが表示されていることを確認します。

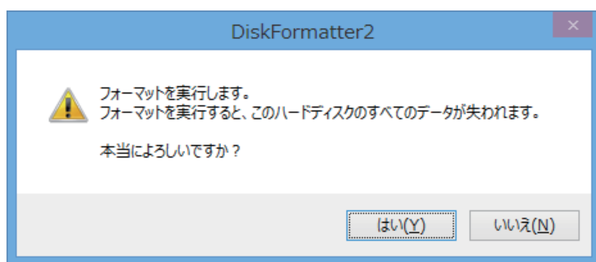
(2) フォーマットする形式を選択します。（以下の表を参照）
※ドライブの名前（ボリュームラベル）を設定したい場合は、「ドライブの名前」の欄に入力してください。

(3) ［フォーマットする］をクリックします。



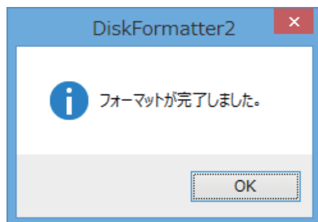
NTFS（Windows 8/7/Vista/XPパソコン）	Windowsパソコンの形式でフォーマットします。Macでは使用できません。 • セクターサイズ 3 TB以上のモデルの場合：4096バイト 2 TB以下のモデルの場合：512バイト • パーティションのスタイル：MBR • ファイルシステム：NTFS
NTFS（Windows 8/7/Vistaパソコン） ※Windows 8/7/Vistaで3 TB以上のモデルを接続した場合のみ表示されます。	Windows 8/7/Vistaパソコンの形式でフォーマットします。Windows XPパソコンやMac では使用できません。 • セクターサイズ：512 バイト • パーティションのスタイル：GPT • ファイルシステム：NTFS
FAT32（Windows 8/7/Vista/XPパソコン, Mac）	WindowsパソコンやMac での形式でフォーマットします。1ファイル4 GB以上のデータは保存できません（FAT32形式の制限です）。 • セクターサイズ 3 TB以上のモデルの場合：4096バイト 2 TB以下のモデルの場合：512バイト • パーティションのスタイル：MBR • ファイルシステム：FAT32
テレビ設定	テレビで初期化できるように、フォーマットしていない状態に戻します。この設定にした場合は、テレビで初期化してください。WindowsやMac では認識できません。 • セクターサイズ：512 バイト • パーティションのスタイル：無し • ファイルシステム：無し

4 ［はい］をクリックします。



フォーマットが始まります。手順5の画面が表示されるまでお待ちください。

5 [OK]をクリックします。



以上でフォーマットは完了です。

Mac OS拡張形式でのフォーマット

本製品をMac OS拡張形式でフォーマットする手順を説明します。Mac OSのバージョンによって、手順が異なります。お使いのバージョンの手順を参照してください。

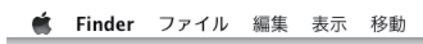
Notes:

- Windowsをお使いの場合は、Mac OS拡張形式でフォーマットできません。NTFS形式やFAT32形式でフォーマットしてください。
- 本製品を複数の領域に分けて使用できないことがあります。その場合は、領域を分けずにお使いください。
- 詳しい手順は、Mac OS のヘルプを参照してください。

Mac OS X 10.5以降

1 をクリックして[Finder]を表示します。

2 [移動]メニューの[ユーティリティ]を選択します。



3 [ディスクユーティリティ]をダブルクリックします。

4

(1) フォーマットするディスクをクリックします。

(2) フォーマットするディスクの情報を確認します。ディスクの情報は製品によって異なります。



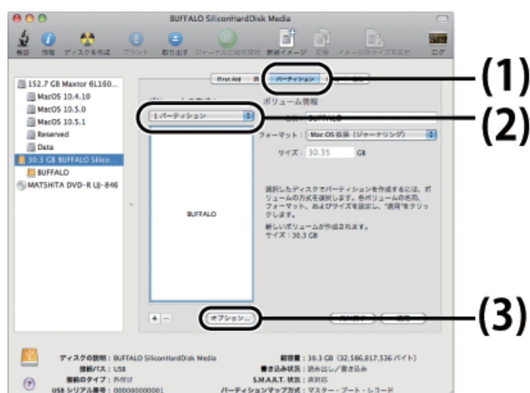
5

(1) [パーティション]をクリックします。

(2) [1パーティション]を選択します。

※ここで選択した数のパーティションを作成します。作成したいパーティション数を選択してください。

(3) [オプション]をクリックします。



6

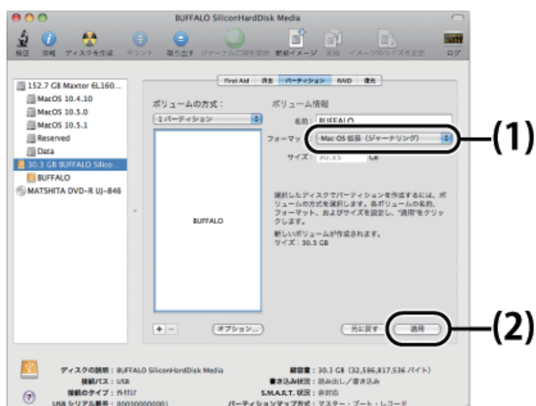
[Appleパーティションマップ]をクリックします。



7

(1) [Mac OS拡張(ジャーナリング)]を選択します。

(2) [適用]をクリックします。



8 [パーティション]をクリックします。



以上で本製品の初期化は完了です。ディスクユーティリティを終了してください。

「Time Machineでバックアップを作成するために"(ボリューム名)"を使用しますか？」と表示されることがあります。Time Machineを使用してパソコンのバックアップを本製品に保存する場合は[バックアップに使用]をクリックし、Time Machineを設定してください。Time Machineを使用しない場合は[キャンセル]をクリックしてください。

Mac OS X 10.4

Notes:

- ハードディスクがMac OS X 10.4に対応している必要があります。
- Mac OS X 10.4ではパーティション分割ができません。

1 をクリックして[Finder]を表示します。
ハードディスク接続時に、以下のメッセージが表示された場合は[初期化]をクリックしてください。



2 ［移動］メニューの［ユーティリティ］を選択します。

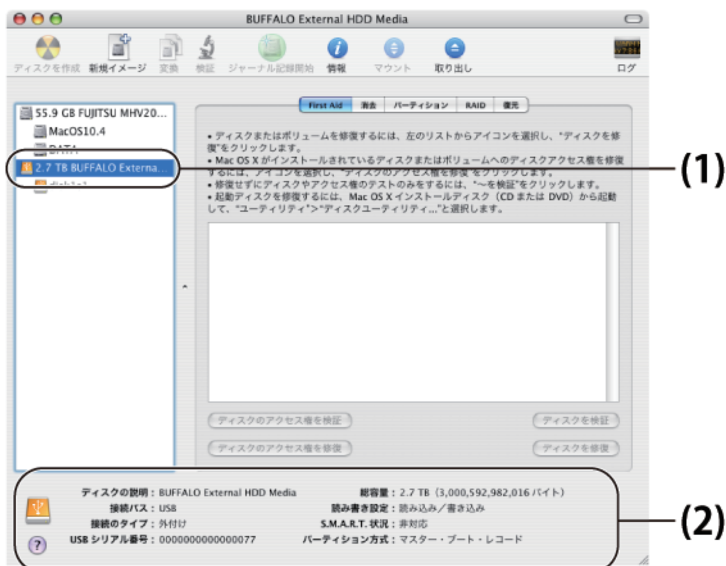
Finder　ファイル　編集　表示　移動

3 ［ディスクユーティリティ］をダブルクリックします。

4

(1) フォーマットするディスクをクリックします。

(2) フォーマットするディスクの情報を確認します。ディスクの情報は製品によって異なります。

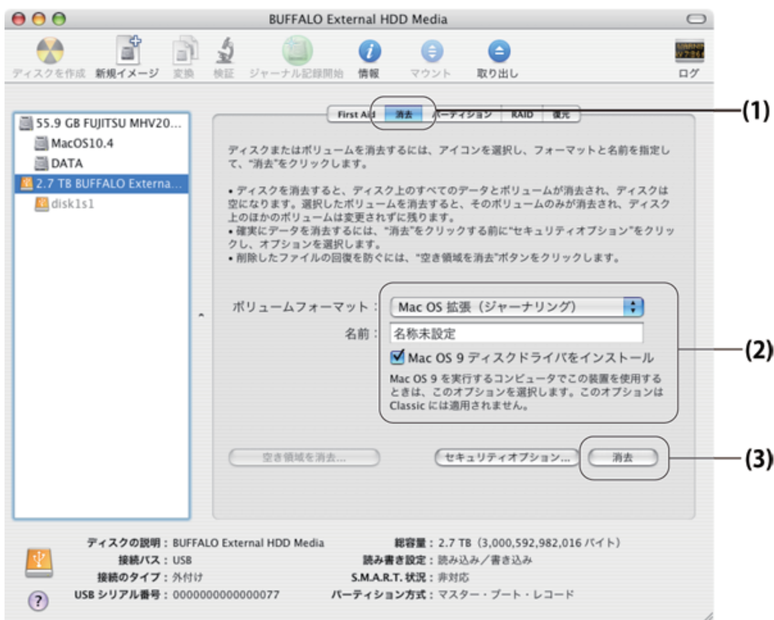


5

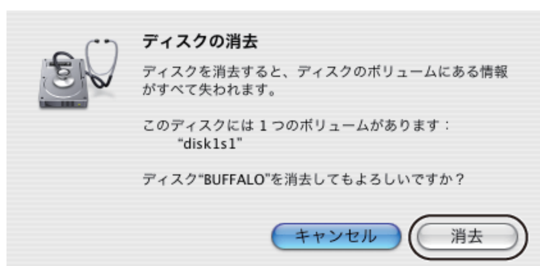
(1) ［消去］をクリックします。

(2) ボリューム情報を設定します。フォーマットは通常、［Mac OS 拡張（ジャーナリング）］を選択してください。

(3) ［消去］をクリックします。



6 ［消去］をクリックします。



以上で本製品のフォーマットは完了です。ディスクユーティリティを終了してください。

第2章 - メンテナンス

バックアップやエラーチェックなど日ごろのメンテナンスについて説明します。

バックアップ

バックアップの必要性

ハードディスクに蓄えられた重要なデータを保護するために、外部のメディアにデータの複製を作成することを「バックアップ」といいます。大容量ハードディスクには、日々大量のデータが格納されます。事故や人為的なミスなど不測の事態でデータを失うことは、業務上大きな損失となります。

バックアップを行えば、同じデータが複数のメディア（ハードディスクなど）に保存されます。そのため、万が一、1つのメディアに保存したデータが破損・消失した場合でも、他のメディアから破損・消失したデータを復元することができます。

Notes:

- ハードディスクを使用する場合は、定期的にバックアップを作成してください。
- Mac OS X 10.5以降には、「Time Machine」というバックアップ機能があります。Time Machineでバックアップ方法は、本章「Time Machineを使ってバックアップする」を参照してください。

バックアップ用のメディア

バックアップ用のメディアには次のようなものがあります。

- Blu-rayディスク
- HD DVD
- DVD-R/RW
- DVD+R/RW
- DVD-RAM
- CD-R/RW
- 光磁気ディスク（MO）
- 増設ハードディスク
- ネットワーク（LAN）サーバー

可能な限りDVD-Rなど容量の大きいメディアにバックアップすることをおすすめします。

増設ハードディスクにバックアップする場合は、そのハードディスクをバックアップ専用にすることをおすすめします。

バックアップデータの復元（リストア）

バックアップデータを元のハードディスクに復元することをリストアといいます。

リストアコマンド／ツールは、一般的にバックアップコマンド／ツールで指定されたもの以外は使用できません。マニュアルなどで確認して使用してください。

ハードディスクのエラーチェック（スキャンディスク）

WindowsやMac OS X には、ハードディスクのエラー（異常）をチェックするためのツールが付属しています。このツールはエラーを修復することもできます。ハードディスクを安全に使用するために、ハードディスクを定期的にチェックすることをおすすめします。

エラーのチェック方法は、WindowsやMac OS X のヘルプやマニュアルを参照してください。

ハードディスクの最適化（デフラグ）

ハードディスクを長期間使用してファイルの書き込みや削除を繰り返していると、ファイルが分断されてディスクのあちらこちらに散らばってしまいます。これを断片化（フラグメンテーション）といいます。断片化されたファイルは、読み書きする際にディスクのあちらこちらにアクセスしなくてはいけないため、時間がかかっています。

このように散らばってしまったファイルをきれいに並べなおすことを、最適化（デフラグメンテーション）といいます。ハードディスクを最適化すると、ディスクアクセスの速度が改善されます。

Windowsには、断片化したハードディスクを最適化するためのツールが付属しています。ハードディスクを快適に使用するために、定期的にハードディスクを最適化することをおすすめします。

Notes:

- シリコンハードディスクは構造上、断片化しても速度は低下しません。そのため、デフラグの必要はありません。
- 最適化の方法は、Windowsのヘルプやマニュアルを参照してください。
- Macには、ハードディスクを最適化するためのツールは付属していません。ディスクの最適化には、市販のユーティリティーを使用してください。

特定のソフトウェアが使用できない場合

パソコン標準搭載のハードディスクを対象にしたソフトウェア（※）上で、本製品を使用できないことがあります。その場合は、パソコンに標準搭載のハードディスクを使用するか、他のソフトウェアを使用してください。

※ソフトウェアの仕様はソフトウェアメーカー（プリインストールソフトウェアではパソコンメーカーの場合があります）にご確認ください。

Time Machineを使ってバックアップする（Mac OS X 10.5以降のみ）

Mac OS X 10.5以降に搭載されたバックアップ機能「Time Machine」を設定して、本製品にバックアップを作成する方法を説明します。

設定する前にご確認ください

Time Machineの設定を行う前に知っておいていただきたい注意事項を記載しています。設定を行う前にご確認ください。

- **本製品を出荷時状態でお使いの場合や、Windowsでも使用されていた場合は、Mac OS拡張形式(ジャーナリング)で初期化してください。**

  FAT32形式やNTFS形式でフォーマットされたハードディスクを使用すると、Time Machine設定時などにエラーが発生することがあります。Mac OS拡張形式(ジャーナリング)で初期化してから設定を行ってください。
- **Time Machine設定時、本製品に保存されたデータは消去されることがあります。**

  お使いの環境によっては、Time Machineの設定時に本製品が初期化されることがあります。Time Machineの設定を行う前に、本製品内のデータをバックアップすることをお勧めします。

- 本製品はTime Machine専用のハードディスクとして使用することをお勧めします。

  本製品をTime Machineのバックアップディスクに設定した場合、本製品に保存されたデータはバックアップされません。また、Windowsでは使用できませんので、ご注意ください。
- Time Machineの設定後は、本製品の「Backups.backupdb」フォルダのデータを削除しないでください。

  Time Machineでバックアップしたデータは、本製品の「Backups.backupdb」フォルダに保存されます。Time Machineで保存されたデータを削除した場合、バックアップを復元できないことがありますのでご注意ください。
- 本製品を取り外しているときはバックアップできません。

  Time Machineの設定すると、パソコンの使用中は定期的に本製品へバックアップを行います。本製品を取り外している間は、バックアップされませんのでご注意ください。

設定する

Time Machineの設定手順を説明します。

1 アップルメニューから[システム環境設定]を選択します。

2 [Time Machine]をダブルクリックします。



3 [バックアップディスクを選択]をクリックします。



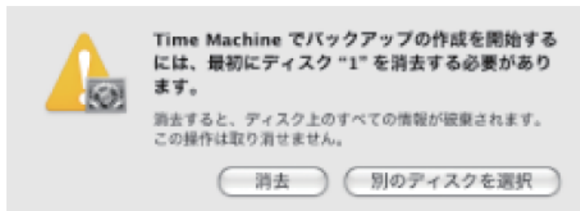
4

(1) 本製品を選択します。

(2) ［バックアップに使用］をクリックします。



以下の画面が表示されたら？



本製品の初期化が必要です。［消去］をクリックして、画面に従って初期化してください。

Notes:

- 本製品内のデータは全て消去されます。本製品内に必要なデータがある場合は、［消去］をクリックする前にバックアップしてください。
- 「Time Machineのエラー」と表示された場合、本製品がMac OS拡張形式（ジャーナリング）で初期化されていない可能性があります。本製品を取り外した後、再度接続し、Mac OS拡張形式（ジャーナリング）で初期化してください。初期化が完了したら、再度手順1からの手順を行ってください。

5 「入」になっていることを確認します。



以上で設定完了です。設定後、自動的にバックアップが始まります。
バックアップは、バックグラウンドで行われるため、Mac OSの操作やシャットダウンなどは、通常通り行えます。
復旧を行う場合やバックアップから除外したい項目を設定する場合は、Mac OSのヘルプを参照してください。

フォーマット/メンテナンスガイド
2012年10月5日 第4版発行
発行　株式会社バッファロー